



Q：最近せきが続き、市販のせき止めで治まりません。夏風邪でしょうか？

A：夏場にせきが続き治まらない。それはもしかしたら夏型過敏性肺炎かもしれない。夏型過敏性肺炎は、カビ・細菌・ほこり・鳥のふんなどを繰り返し吸い込むことで、その物質が抗原となりアレルギー反応から肺炎を起こす病気ですが、その中でも、トリコスポロンというカビが原因で起こるのが夏型過敏性肺炎です。

トリコスポロンは、高温多湿な夏場に、台所・浴室・洗面所・畳の下など、日当たりが悪く、湿気が多く、風通しが悪い場所で発育する身近な

カビですが、エアコンが原因となることも多いのです。症状としては、せき・たん・頭痛・だるさ・発熱などで、風邪と似ていますが、その特徴は、6～10月の間だけ症状が現れることが多い・毎年夏の時期になると同じ症状を繰り返す・夏場に長時間家にとせきがひどくなる・旅行などで自宅を離れると症状がよくなる―などです。予防とし



ては、まずは原因となるカビの発生を防ぐことであり、エアコン、洗濯槽や、浴室、台所などの水回りの掃除や換気をまめに行いましょう。

(岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニッコー北口駅前ビル2F)
☎0555・2888・1801